

ひとりの首切りも許すな！ 原職を実力で奪還するぞ！

勝利の88年へ、事業部の決意

賀正

国鉄千葉動力車労働組合

事業部

日刊 動労千葉

1988.1.7

No.2734

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

闘う事業部の真価を發揮しよう

激動の一九八八年を迎え、今年こそ本当に「闘う事業部」の真価が問われる年になるうとしています。その意味で、昨年にも増して決意を固めてすべての組合員の先頭で闘いぬく所存です。

さて、動労千葉事業部は、現在、協販部、共同購入会、カナメ商事、そして外に働きに出ている仲間からなり、それぞれ物品販売運動、保険代理店など、様々な運動を展開しています。

この運動の強化・拡大こそ、動労千葉が原則を守って闘いを貫き、原職奪還をかちとり、組織財政基盤の確立をするために不可欠の課題であると考え、解雇者を先頭にして日夜奮闘しているところです。事業部の闘いいかに動労千葉の命運がかかっているのです。

組合員のエネルギーが可能性を開く

そして、事業部運動を進める上で一番の寄り所になるのが、動労千葉の闘いの正しさと、七五〇名組合員の存在なのです。三〇数名の解雇者だけでこの運動が成功するはずがありません。

われわれは、昨年の「四・一分割・民営化」強行を前に、当局―鉄道労連が一体となってかけてきた差別・選別攻撃の中で、組合員一人ひとりが苦しみながらも仲間を信頼し、動労千葉の正しさを確信して七五〇名が団結を崩さなかったことにより、全組合員が本心に団結して闘いぬくならばものすごいエネルギーが生み出され、無限の可能性が開けてくるのです。今こそ組合員一人ひとりの決起を心より訴えるものです。

一九八八年を勝利の年にしよう

また、動労千葉事業部の闘いは、全国の人々からも熱い注目を集めています。とくに、物販運動では、北は北海道から南は九州まであらゆる労組・団体、個人に動労千葉の闘いの現状を訴えることで支援・協力の輪がどんどん広がっています。動労千葉に対する期待の大きさを物語っているのです。

共同購入会は、昨年の四月に動労千葉の組合員を基礎にしてスタートして以来、安くてより良い品物を提供するため頑張りを続けています。地域、職場に共同購入運動を広げようではありませんか。さらに、カナメ商事も、自動車保険、損害保険、旅行代理店、夏・冬のイベントなど、幅広く展開しています。

以上のように、動労千葉事業部は、一九八八年を勝利の年とすべく、「ひとりの首切りも許すな」原職を実力で奪還するぞ！のスローガンを高々と掲げ、あらゆる困難をのりこえ、闘う事業部の真価を發揮すべくすべての組合員の最先頭で闘うことを誓い年頭の決意とします。

物品販売は一月末までです
目標達成までガンバロー

団結旗びらき に集まろう

とき 1月16日13時

ところ 労働者福祉センター
大ホール

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！